

(5) その他

スマートシティの実現に向けた社会実験の実施について

IOT、AI等の最先端技術を活用し、都市課題の解決や都市機能の効率化に活かす「スマートシティ」の取組を推進(大阪府・市町村)

スマートシティ実現の推進体制として、企業・市町村等が連携し、大阪スマートシティパートナーズフォーラム(以下OSPF)を設立(令和2年8月)

自治体課題の共有(金剛地区のニュータウン問題)

府のマッチングにより、三井住友海上火災保険株式会社(OSPFプロジェクトリーダー)と連携し、「金剛地区」をフィールドとして、ニュータウンの課題解決とともに、高齢者にやさしいまちづくりや住民のQOL(生活の質)を高めるための「社会実験」実施の検討をスタート。

スマートシティの視点を踏まえ、地区課題の解決に向けて、3者で具体的取組を検討中。

取組イメージ(実証実験 検討案)

テーマ=高齢者にやさしいまちづくり

買物の距離を縮め、外出機会・運動機会を増加！
地産地消の創出、社会交流とにぎわいづくり！

空きスペースで「買物場所」を創設
「社会交流の場」を創出

マルシェを
補完

無人野菜
即売所の導入

地産地消
近隣農家支援

近隣の
野菜提供

キッチンカー
の導入

社会交流の場
創出

ICTの視点を取り入れて実施

コロナ禍、大阪狭山市、堺市、豊中市等で実施事例あり。

担い手として、地域住民の皆さんの協力が必要
(まちづくり会議の場でも連携・協力を呼びかけ)

外出機会の増加
運動機会の増加
高齢者の健康増進

- ・場所の選定・提供
- ・実施内容の検討(頻度・期間等)
- ・交流の場づくり
- ・参加者(利用者)呼びかけ(広報活動)
- ・アンケート等の実施(効果検証)
- ・既存事業、取組等との調整。

スマホ(ICT)機器を活用したデータ収集・分析etc

キャッシュレス決済の導入、スマホを活用した情報発信、スマホ講座etc